

ニュージーランド 視察レポート

香川会計事務所
公認会計士・税理士 香川晋平

平成 19 年 3 月 17 日から 3 月 22 日まで、弊事務所が加盟している **日本M&Aセンターグループ** の国際会議に出席するため、**ニュージーランド**に行ってきました。

現在、全国で 200 近くの会計事務所がこの日本M&Aセンターグループに加盟していますが、今回は約 130 の会計事務所が参加されており、いろいろと情報交換もさせていただきました。



今回、最初に訪問したのは南島の**クライストチャーチ**。

人口約 30 万人のニュージーランド第三の都市で、南島の経済・文化の中心地で「ガーデン・シティ」のニックネームを持つ非常にきれいな街でした。この時期は夏の終わりになるのですが、非常に心地よい気候でした。また、ニュージーランドではゴルフが非常に一般的なスポーツとのことで、ゴルフ場が数多くあり、一部の名門コースを除き、**年間 10 万円程度の年会費を払うと、年間何度でもプレーができる**そうです。(まさに、ゴルフ天国!) それもあってか、日本の冬にあたる 1 月～3 月にこのクライストチャーチで暮らしている日本人も結構いらっしやるとのことでした。



(↑ クライストチャーチにて)



(↑ オークランドにて)

次に訪問したのは、北島の**オークランド**。

ニュージーランド最大の都市で人口は約100万人、高層ビル街と青い海、緩やかな丘陵のコントラストが鮮やかな街でした。クライストチャーチと比べると、大都会という感じで、私が抱いていたニュージーランドのイメージとは、かけ離れた街でした。(個人的にはクライストチャーチの方が好きです。)

*クライストチャーチでの自由行動の1日を使って、ニュージーランドの最高峰 **マウントクック**を訪れました。至る所に羊の群れを見つけることができ、途中、テカポ湖という綺麗な湖に立ち寄りながらの片道約5時間のバスの旅でした。大変疲れましたが、長時間かけていくだけの景色に出会えました。



(↑ テカポ湖)



(↑ マウントクックにて)



(↑ このホテルでランチ)

● ニュージーランドの概況

【政治】

2大政党(労働党と国民党)。ヘレン・クラーク首相率いる第3次労働党内閣(2002年8月より、08年秋に総選挙)他に緑の党など小政党。

【経済】

2000年以降好調。高金利で世界中のお金が入ってきており、NZドル高の傾向が続いている(1NZ=約81円)。金利の上昇要因は、住宅投資が活況とのことで、まだ利上げがあるかも?

質の高い一次産品生産国で、うち60%を輸出。2007年の実質GDP成長率をプラス2.1%、消費者物価上昇率3.4%、賃金上昇率4.0%、失業率4.7%と中央銀行は予測。

あと、映画産業等が活況で、市場規模は2,000億円。トム・クルーズ、渡辺謙の「ラストサムライ」は実は日本ではなく、ニュージーランドで撮影されたとのこと。その他、自動車のCMの舞台としても良く使われている。

【観光】

中国からの来訪者が大幅に増加しており、2012年には2005年の約2.5倍の年間22万人になるとの予測(全体では310万人を予想)。一方で日本からの来訪者は伸び悩みの状況。

● 国際会議に出席して・・・

昨年10月10日に**㈱日本M&Aセンター**（銘柄コード2127）が東証マザーズに上場し、その前の週の10月6日には、同じくM&Aアドバイザリー業務を行っている**GCA**（銘柄コード2126）も東証マザーズに上場しました。その後の株価も両社とも非常に堅調であります。

業界では、昨年は「M&A元年」と言われていますが、この理由は、

大企業 ⇒ **会社法改正、三角合併**

中小企業 ⇒ **後継者問題（政府が支援の方針）**

が大きな問題となっているからです。

GCAはニュース番組によく出演されている一橋大学大学院の佐山展生教授が代表をされている会社ですが、こちらの会社は昨年ではワールドのMBOや阪急・阪神のM&A案件に携わるなど、主に大企業のM&A案件に取り組んでいます。

一方、幣事務所が加盟する**㈱日本M&Aセンター**は、主に中小企業の後継者問題に取り組んでおり、上手く棲み分けができています。

全国の会計事務所の先生方ともいろいろ情報交換をさせていただきましたが、「後継者問題」は本当に大きなテーマのようで、会社の譲渡を相談される会社も非常に増えてきているとのことでした。

幣事務所でも、後継者問題、事業承継に今後力を入れていきたいと考えております。

今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

以上